

令和6年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	吉野川市			代表者名	原井 敬
担当者部署(属性)	情シス担当	担当者部署名	総務部デジタル推進課	連絡先電話番号	0883-22-2234
担当者役職	課長補佐兼係長	担当者氏名	小松 弘幸	連絡先E-mail	
住所	776-8611 徳島県吉野川市鴨島町鴨島1 1 5 番地1				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

団体名		連絡先部署	
担当者氏名		連絡先電話番号	
		連絡先E-mail	

1-3. 支援を求める内容

支援方法	職員向け啓発・研修（単独）	事業名（予定）	職員向けDX推進啓発事業
概要	本市のDXを推進していくためには、職員一人ひとりがDXの意味や目的を理解し、協同して取り組もうという意識を持てるようにすることが求められる。そこで、組織内での認識共有や全庁的な機運醸成を図るため、講演を通して具体的に助言（アドバイス）をいただきたい。		
支援を求める分野	人材（DX推進のための機運の醸成）		

2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

2-1. 対応日・時間	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
	有	273	令和6年12月19日	講演&フォローアップ	実地
	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
	令和6年12月11日	講演&フォローアップ(実地)	9時00分	16時00分	60
				活動時間（分）	360
2-2.	会場名	吉野川市役所	最寄駅	鴨島駅	
派遣場所	所在地	徳島県吉野川市鴨島町鴨島1 1 5 番地1	最寄駅からの交通手段	公用車による送迎	

3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	村上 文洋
評価	大変よい
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	研修の際に行った受講者アンケート（参加者67名中回答者67名[回答率100%]）では、研修満足度が「非常に満足」63%、「満足」36%で、研修理解度が「非常に理解しやすかった」55%、「理解しやすかった」42%、DXに取り組む意識の高まりが「非常に高まった」40%、「高まった」52%との回答が得られ、本支援により目指す成果・目的（職員一人ひとりがDXの意味や目的を理解し、自分事と捉え、協同して取り組もうという意識を持てるようにすること）は十分に達成できた。
アドバイザーへの要望事項	本市のDX推進の取組は始まったばかりであるので、今後も引き続き、様々な機会においてアドバイスをいただきたい。

4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

4-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	合計人数	67人		
	属性	自治体職員	住民	企業・団体	その他(学生など)
	人数	67	0	0	0

4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果

事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）	DXを推進することは住民の利便性の向上はもちろん、自分たち職員側にとってもメリットをもたらすものであるが、皆、日々の業務に追われ、DXを自分事と捉え、取り組んでいこうとする意識が育っていない。
支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）	職員一人ひとりがDXの意味や目的を理解し、自分事と捉え、協同して取り組もうという意識を持てるようにする。

アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	DXに取り組むための4つのポイント(1. 思考停止に陥らない、2. 無謬性神話からの脱却、3. 内部業務のデジタル完結、4. サービスの個人最適化)を基に、喫緊の課題である人口減少や急速に進むデジタル化に対応するための意識改革と組織改革の重要性についてご講演いただいた。また、講演では課題解消のためにどのような進め方があるか具体的なアドバイス(データ活用や民間サービスの積極的な活用など)も示していただいた。	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	研修には部次長級・課長級など管理職だけでなく、実務を担当する中堅・若手職員まで、幅広い層の職員が受講することができた。 様々なデータや事例に基づいた話を聞くことができ、今後、行政サービスを維持・向上させるためには業務の効率化と改善が急務であることを改めて実感し、各階層の職員がDXを自分事としてとらえ、身近なところから改革に取り組む姿勢を育むことができた。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑤組織業務改善ができた
	アンケート結果では、9割以上の参加者(職員)がDXに取り組む意識が高まったと回答し、本研修への満足度の高さを示している。	
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	研修(講演)で学んだことを基に、本市のDXをデジタル部門だけでなく、各部署と協同して進めることができるよう、推進体制の強化を図る。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。) アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 別添PDFファイルのとおり	
4-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	②次年度に予算化を図り推進する
	所属部署が抱える課題や問題点を解決する手段の一つとして、DXを用いることを積極的に考え、具体的に進めていく。(書かない窓口や電子決済・キャッシュレス決済など)	
4-4. 事業の最終的な目指す姿	デジタル技術を活用した市民サービスの向上と業務効率化	

5. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可 掲載可

https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past_year_all_houkoku/

なおくその他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

